

城南の風

この会誌に記載の情報は城南まちづくり協議会ホームページにも掲載されています。

編集・発行 城南地区まちづくり協議会総務部
篠山市小枕 城南コミュニティーセンター
TEL：079-506-0955 FAX：079-506-0956
ホームページ <http://www.jounan-sasayama.jp>

豊ノ島関との交流会

2月27日(金)

大相撲時津風部屋の幕内力士豊ノ島と付人の序二段謙豊のお二人の力士が2月27日城南小学校体育館へお越しになり、同小学校や幼稚園の児童と交流会が開催されました。

豊ノ島関は、身長170センチ、体重157キロ（現在はダイエット中で153キロ程度とか）、前頭5枚目ですが、最高位は関脇までいったベテラン力士です。

付人の謙豊は、身長180センチ、体重250キロ超の大型のお相撲さんです。

あまりに大きいのでそれぞれ2脚分のイスに座られました。

まずは、質問タイム、子供たちから一斉に手が挙がります。

「どうしたらそんなに大きくなれるの？」 「目標は？」 「体の柔軟性をを見せて！」では巨漢の謙豊が見事な股割に一同溜息、さらには「トイレはどうするの？」などの珍問も。

ついで、「ふれあいタイム」では体育館の中央に設けたにわか作りの土俵で5～7人の子供たちがお相撲さんに一斉にぶつかっていきました。大きなおなかに跳ね飛ばされながらも大きな身体の子供たちは豊ノ島を寄り切る場面も・・・。

最後は「お楽しみジャンケン大会」

豊ノ島関とのジャンケンに勝ち抜いた20人にお菓子などの賞品が贈られました。

アツと言う間の1時間、子ども達には思い出に残る交流会になったことでしょう。

3月の大阪場所での豊ノ島関の活躍が期待されます。



まち協視察研修会

2月10日(火)

産業振興農業部主催の視察研修会が去る2月10日に行われ、各集落から34名出席しました。今年度まち協では、農産物の加工施設を小枕の保育所跡に計画していることから、先進的な加工所を中心に以下の3か所を訪れました。

1) 道の駅「いながわ」視察と「いな郷グループ」訪問

道の駅いながわを中心に地元農産物の加工物を製造販売している「いな郷グループ」は、昭和 57 年に発足以来、ふるさとの味の伝承などを通じて地域活性化を目指して活動されている女性グループで、代表の方から、苦労話や活動の状況など懇切丁寧に説明していただきました。黒大豆味噌・白大豆みそ・佃煮などからはじまり、平成 20 年に農産物加工施設「いなっこ工房」が完成してからは、巻きずしをはじめ寿司類や黒豆コロッケ、などの料理、そして各種の弁当など幅広い商品を手掛けておられました。お昼は、特製の弁当をよばれましたが、味、ボリュームとも申し分なかったです。

2) 株式会社デザートプラン (尼崎市) 視察

魅力的で質の高いスイーツギフトを提供している会社で真南条営農組合の赤ジャガアイスも製造しています。およそ 10 人ほどのグループに分かれて、マンゴー入りプリンを製造し容器に詰めている作業を直に見学させていただきましたが、厳重な衛生管理の実態に感心しました。

3) 浜福鶴吟醸工房 (神戸市東灘区) 視察

年間を通じて酒造りのできる設備を備えた同工房で、同社の案内人の説明を聞きガラス張りの工程を見学し、各種のお酒の試飲を楽しみました。



まちづくり懇談会

1月17日(土)

まち協文化部主催のまちづくり懇談会が酒井市長はじめ市のまちづくり支援員を来賓に迎え、コミセン城南会館で開催されました。

今回のテーマは、まち協が本年度食品加工所開設を計画中であることから、農産物の加工販売等 6 次産業化に関連する内容で開催され、各集落よりの約 50 名の参加者は熱心に聞き入っていました。講演内容は、

- ①「篠山市の 6 次産業化 (食品加工) についての考え方」 篠山市農都政策課長藤本雅浩様
6 次産業化についての国や県の動向と必要性や、篠山市の考え方や「里山くもべ」等の例をお話していただきました。
- ②「ホップ・ステップ・ジャンプ羽ばたく女性達」 企業組合氷上つたの会秋山佐登子様
平成 5 年「氷上インター」開設をきっかけに高齢女性 (平均年齢 70 歳) ばかりで結成された「氷上つたの会」が食品加工所を開設し、徐々に取扱商品を増やし、発展させたコンセプトや苦労話を生々しく語っていただき、大変感銘を受けました。
- ③「食品加工所開設に向けて」 小林泰雄まち協開発部長
当まち協が城南保育所跡に開設を検討中の「食品加工所」についての現段階でのコンセプトや考え方、進捗状況等について説明しました。